

今回は、関飛行場の調査及び普及活動の報告です。

◇ 関飛行場に関する関高生の調査

関飛行場は、大戦末期、日本陸軍が本土防衛・本土決戦に備えて全国各地に建設した秘匿飛行場のひとつです。坂祝町黒岩、美濃加茂市加茂野町稲辺、関市大杉にかけて、滑走路が建設されたほか、周辺の山々には、コンクリートの司令部地下壕、通信施設、爆弾や燃料を収納した地下壕などが次々と構築されました。その一部は現在も残っています。

2021年1月末、地域から情報を得た本校地域研究部員は、当時を知る高齢者の方々から聞き取り調査を行うとともに、遺跡の現状を調べるための測量調査や写真撮影、飛行場建設にいたる歴史的背景を探るための文献調査を実施しました。その成果は、数々の全国コンクールで上位入賞を果たしています。

この研究は、多くの協力者の方々により成し得たものです。研究成果に関しても、広く地域の方々を知っていただけたらと考え、今年度、以下のようなイベントを企画し、実施しました。今後も、地域と連携した調査・普及活動を継続する予定です。

◇ 関市と連携した現地セミナーを行いました！

主催： 関高等学校 関市文化財保護センター
協力： 有限会社 ふる里農園美の関
参加： スタッフを除く見学者 約100名
日時： 令和5年5月21日（日） 10:00～12:00
場所： 関飛行場跡 ふる里農園 関市大杉567-10
内容： 関高生による関飛行場現地説明、関市文化財センターによる大杉遺跡現地説明

◇ 戦争体験を語り継ぐための公開聞き取り調査を行いました！

主催： 関高等学校 関市観光協会
協力： 株式会社 三栄コンサルタント
参加： 戦争体験者の方々、関心のある地域の方々 スタッフを除く参加者45名
日時： 令和6年3月2日（土） 9:00～11:00
場所： せきてらす 関市平和通4-12-1
内容： 関飛行場に関わる目撃証言、遺跡の現状に関する聞き取り



左写真： 現地セミナーの様子（ふる里農園施設内）

右写真： 公開聞き取り調査の様子（せきてらすホール）